

熊本市復興だより

# Hi.Go!!

さあ、行こう!!



熊本市イメージキャラクター「ひごまる」。熊本地震を受けて、新たなデザイン「ひごまる復興バージョン」が誕生!手を前に大きく突き出したポーズは前向きさと明日(未来)へ向かう姿を表しています。ひごまるとともに、「がんばろう!くまもと」



熊本市政局復興総室

検索



新病院では、熊本地震の経験を教訓として、免震装置や耐震性のある受水槽等を設置し、発災後も診療が継続できる機能を整備しています。屋外やエントランスホールに十分なスペースを確保し、災害時にはトリアージおよび患者治療スペースとして使用します。また、ライフラインの二重化を進め、食料や医薬品などの備蓄と併せて、一定期間、自立的運営が可能な病院となっています。

**ヘリポート**

建物の屋上にヘリポートを整備し、患者さんの受け入れ体制を強化しています。熊本県ドクターヘリや熊本県防災消防ヘリ「ひばり」等を受け入れ、県内外の周産期医療の拠点としてお母さんと幼い命の緊急時に対応するほか、災害時には他都市からの患者さんの搬送にも使用します。

**水源設備**

熊本地震で受水槽が破損し水の供給ができなくなったことを教訓として、地震にも強い鋼板製の受水槽を採用しています。また、上水道が停止した場合に備えて、敷地内に井戸を設け、くみ上げた水をろ過する装置を設置し、病院機能にとって生命線である水を二重に確保しています。

**災害時医療活動支援スペース**

災害時には正面玄関の外部にトリアージスペースを設け、軽症患者は立体駐車場、中等症患者はエントランスホール、重症患者は救急部門で治療を行います。エントランスホールには非常電源、医療ガス、電子カルテのアウトレットを設置し、災害備蓄倉庫を隣接して配置しています。

**電力供給設備**

電力供給は変電所から別々の2ルートで引き込み、安定的に電力供給ができる仕組みを採用しています。災害時の停電に対する予備電源としては非常用発電機を2機設置し、72時間運転できる燃料を備蓄しています。非常用発電機は、豪雨による浸水に備えて屋上に設置しています。

**免震装置**

大地震発生時においても防災拠点施設としての機能を維持し、医療活動が継続できるように、耐震性能に優れた免震構造を採用しています。地下の建物と基礎の間に、鉛プラグ入り積層ゴムアイソレータ、オイルダンパー等4種類98基の免震装置が設置されています。

**各区で「住まいの相談窓口」を開設します!**

仮設住宅などにお住まいの方が、1日も早く住まいの再建ができるよう、「伴走型」による住まいの支援を行っています。下記の日程で「住まいの相談窓口」を開設しますので、ぜひ相談ください。

**■主な相談内容**

- ・賃貸住宅を探したい
- ・中古住宅を購入したい
- ・土地の売却や利活用の相談
- など

**■相談日および場所** ※お住まいの区以外でも相談できます。

区	相談日	場所
中央区	9月11日(水)	市役所 13階 伴走型住まい確保支援室
東 区	9月24日(火)	東区役所 1階 ロビー
西 区	9月25日(水)	西区役所 1階 103会議室
南 区	9月18日(水)	南区役所 2階 B会議室
北 区	9月13日(金)	北区役所 3階 大会議室

**■相談時間** 午前9時～午後4時

※事前予約が必要です。下記までお問い合わせください。

※上記の相談日以外については、市役所13階「伴走型住まい確保支援室」で相談できます。

**■問い合わせ先**

伴走型住まい確保支援室 ☎096-328-2983

相談時間 月～金曜日(祝日除く)午前9時～午後5時

**すまいの再建助成金の申請期限迫る!**

平成29年11月から受付を開始した次の4つの助成金の申請期限が迫っています。まだ申請していない場合は、早めに手続きください。

- ①転居費用助成
- ②民間賃貸住宅入居支援助成
- ③自宅再建利子助成
- ④リバースモーゲージ利子助成

**■対象世帯**

- 全壊または大規模半壊の世帯
  - 半壊で、その住家が解体となった世帯
  - プレハブ仮設住宅・みなし仮設住宅に入居し、供与期間中に退去した世帯
- ※必要書類など詳しくは、お問い合わせください

**■申請期限** 令和2年(2020年)2月28日

**■申請窓口** 区役所助成金受付窓口(総合相談窓口内)  
月～金曜日(祝日除く)午前9時～午後4時

**■問い合わせ先** 熊本市すまい再建助成金コールセンター

☎0570-003-157

月～金曜日(祝日除く)午前8時半～午後5時15分